

第8節 へき地医療

現状と課題

無医地区・準無医地区

- 県内には、医療の確保が困難な無医地区(※1)が平成26年10月末日現在、5市町村8地区、また、準無医地区(※2)が7市町村12地区あり、これらの地区は峡南医療圏及び富士・東部医療圏に集中しています。

【無医地区】

医療圏	市町村	地区	最寄りの二次救急医療機関
中北	北杜市	和田・黒森	塩川病院
		比志	塩川病院
峡南	身延町	折八	市川三郷病院
峡南	都留市	大平	都留市立病院
富士・東部	大月市	瀬戸	大月市立中央病院
		浅川	大月市立中央病院
		奥山	大月市立中央病院
	小菅村	長作	上野原市立病院
3医療圏	5市町村	8地区	—

【準無医地区】

医療圏	市町村	地区	最寄りの二次救急医療機関
中北	甲府市	古関・梯	市立甲府病院
峡東	笛吹市	旧芦川村	笛吹中央病院
	甲州市	天目	勝沼病院
峡南	身延町	三保	市川三郷病院
		大須成	飯富病院
		曙	飯富病院
	早川町	奈良田	飯富病院
		硯島	飯富病院
		西山	飯富病院
		保	飯富病院
富士・東部	富士河口湖町	富士ヶ嶺	山梨赤十字病院
	丹波山村	鴨沢	大月市立中央病院
4医療圏	7市町村	12地区	—

資料：無医地区等調査(厚生労働省)

無歯科医地区・準無歯科医地区

○ 県内には、歯科医療の確保が困難な無歯科医地区(※1)が平成26年10月末日現在、5市町村10地区、また、準無歯科医地区(※2)が7市町村11地区あり、これらの地区は峡南医療圏及び富士・東部医療圏に集中しています。

【無歯科医地区】

医療圏	市町村	地区
中北 峡東	甲府市	古閑・梯
	笛吹市	旧芦川村
峡南	甲州市	一瀬高橋
		身延町
	早川町	大須成
		奈良田
		硯島
		西山
	保	
南部町	佐野	
富士・東部	丹波山村	鴨沢
4医療圏	7市町村	11地区

【準無歯科医地区】

医療圏	市町村	地区
中北	北杜市	和田・黒森
		比志
峡南	身延町	折八 曙
富士・東部	都留市	大平
	大月市	瀬戸
		浅川
		奥山
	小菅村	長作
3医療圏	5市町村	10地区

資料：無歯科医地区等調査(厚生労働省)

[用語解説]

(※1)無医地区、無歯科医地区

原則として医療機関(歯科医療機関も含む)のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点として、概ね半径4kmの区域内に50人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用できない地区。

(※2)準無医地区、準無歯科医地区

無医地区、無歯科医地区には該当しないものの、無医地区、無歯科医地区に準じた医療の確保が必要な地区として、知事が厚生労働大臣に協議の上、認めた地区。

* 無医地区、無歯科医地区、準無医地区、準無歯科医地区を以下「無医地区等」という。

○ 本県の無医地区等の推移は次のとおりであり、人口や交通事情の変化等により無医地区、無歯科医地区から準無医地区、準無歯科医地区等への変化は見られますが、概ね同数で推移しています。

(単位:地区、人)

		平成16	21	26
無医地区	地区数	9	8	8
	人口	1,373	894	781
準無医地区	地区数	11	12	12
	人口	2,663	2,534	2,193
合計	地区数	20	20	20
	人口	4,036	3,428	2,974

		平成16	21	26
無歯科医地区	地区数	14	10	10
	人口	3,359	1,833	1,660
準無歯科医地区	地区数	6	11	11
	人口	1,715	1,721	1,332
合計	地区数	20	21	21
	人口	5,074	3,554	2,992

資料:無医地区等調査・無歯科医地区等調査(厚生労働省)

へき地医療を担う医療機関等

- 本県では、無医地区等の医療を確保するため、へき地医療拠点病院(※3)の指定、へき地医療拠点病院が行う施設・設備整備や無医地区等に対する巡回診療への助成、へき地診療所(※4)が行う施設・設備整備への助成、過疎地域等特定診療所(※5)が行う施設・設備整備への助成を行い、へき地医療対策を進めています。

区分	医療圏	医療機関	所在地
へき地医療拠点病院	中北	塩川病院	北杜市須玉町藤田773
	峡南	市川三郷病院	市川三郷町市川大門428-1
		飯富病院	身延町飯富1628
	富士・東部	大月市立中央病院	大月市大月町花咲1225
	3医療圏	4施設	-
へき地診療所	中北	甲府市直営宮本診療所	甲府市御岳町2359
		甲府市直営上九一色診療所	甲府市古関町1174
	峡東	笛吹市芦川国民健康保険診療所	笛吹市鶯宿466-1
		南部町国民健康保険診療所	南巨摩郡南部町南部8050-1
	峡南	南部町国民健康保険万沢診療所	南巨摩郡南部町万沢3404-1
		上野原市立病院附属秋山診療所	上野原市秋山7112
	富士・東部	道志村国民健康保険診療所	南都留郡道志村7710
		丹波山村国民健康保険診療所	北都留郡丹波山村903
		丹波山村鴨沢出張診療所	北都留郡丹波山村5011
		国民健康保険小菅村診療所	北都留郡小菅村4631-1
平野診療所		南都留郡山中湖村平野141-1	
4医療圏	11施設	-	
過疎地域等特定診療所	富士・東部	道志村国民健康保険歯科診療所	南都留郡道志村7710
	1医療圏	1施設	-

[用語解説]

(※3)へき地医療拠点病院

へき地医療を確保するため、無医地区等を対象とした巡回診療など、へき地における医療活動を継続的に実施できると認められる病院で知事が指定する病院。

(※4)へき地診療所

概ね半径 4 kmの区域内に他に医療機関がなく、その区域内の人口が原則として人口 1,000 人以上あり、かつ、最寄りの医療機関まで通常の交通機関を利用して(通常の交通機関を利用できない場合は徒歩で)30分以上の時間を要する場所にある診療所。

(※5)過疎地域等特定診療所

過疎地域等に開設する眼科、耳鼻いんこう科又は歯科の診療所。

へき地医療を担う医療機関等の確保

- 本県では、へき地における高齢化が進み、容易に医療機関を利用できない人々がいることから、引き続きへき地医療拠点病院、へき地診療所、過疎地域等特定診療所への支援を行い、へき地の医療提供体制を維持していく必要があります。

山間地における救急医療体制

- 救急医療体制の充実を図るため、平成 24 年 4 月から、救急医療用ヘリコプター(ドクターヘリ)を運用しています。
- ドクターヘリは、専門の医師・看護師と専用の医療機器・医療資機材を搭載して救急現場に出動することにより、一刻も早い初期治療と医療機関への搬送ができ、救命率の向上、後遺症の軽減、遠隔地の救急医療の向上等に繋がることが期待されています。

へき地医療を担う医師の確保

- へき地医療を担う医師は全国的、全県的な医師不足を反映して慢性的に不足しており、また、へき地診療所に勤務する医師の高齢化と併せると、今後ともへき地医療を担う医師の確保が重要な課題となっています。
- 本県では、へき地医療を担う医師を確保するため、自治医科大学(栃木県下野市薬師寺 3311-1)への入学者を毎年 2 名程度確保し、卒業後に原則 9 年間、へき地の医療機関等における勤務を義務付けています。(平成 29 年 4 月現在、卒業生は 84 名、在學生は 17 名で、卒業生のうち 67 名は県内の医療機関に従事し、このうち 17 名が県内のへ

き地医療等に従事しています。)

- また、山梨大学では医学部に地域枠推薦制度を創設するなど、地元の医療機関への定着を目的とした医師確保に向けた取り組みを進めています。
- 引き続き、両大学や山梨大学に設置した地域医療支援センターと連携を行い、へき地医療に従事する医師の確保を図っていく必要があります。

圏域の設定

- へき地医療拠点病院等を中心とした地域における医療提供体制を確保する必要があることから、二次医療圏ごとに圏域を設定します。

施策の展開

へき地医療を担う医療機関に対する支援

- 無医地区等の医療を確保するため、へき地医療拠点病院の医師等による巡回診療への支援、施設・設備整備への支援を行います。
- へき地における診療所の診療機能の向上を図るため、施設・設備整備への支援を行います。
- 過疎地域等特定診療所における診療機能の向上を図るため、施設・設備整備への支援を行います。

へき地医療を担う医師の確保

【総合的な医師確保対策の実施】

- へき地勤務医及びへき地医療を後方支援する病院の医師を確保するため、全県的な医師確保対策を実施します。

【大学等との連携】

- 今後とも自治医科大学、山梨大学、地域医療支援センターと連携を密にし、へき地医療に従事する医師の確保を図っていきます。

へき地医療提供体制の充実

- 救急医療体制を確保するため、山間地におけるランデブーポイント(離着陸場)を増やすなど運航体制の整備を進め、今後もドクターヘリを積極的に活用します。

<巻末データ> 現状の把握【へき地医療】

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	現状の分析	
						中北	峡東	峡南	富士・東部			
1	へき地診療所数・病床数	診療所数	へき地医療現況調査	H28	0.8	1.2					施設 (人口10万対)	○全国を上回っている。
					1.2	1.1					床 (人口10万対)	○全国を下回っている。
2	へき地における歯科診療所数	へき地医療現況調査	H28	0.0	0.0					施設 (人口10万対)	○県内に、該当施設なし。	
3	過疎地域等特定診療所数	へき地医療現況調査	H28	0.1	0.1					施設 (人口10万対)	○全国並みである。	
4	へき地診療所の医師数	常勤医師数	へき地医療現況調査	H28	0.5	0.7					人 (人口10万対)	○いずれも全国を上回っている。
		非常勤医師数			0.9	1.4					人 (人口10万対)	
5	へき地における医師以外の医療従事者数 (歯科医師、看護師、薬剤師等)	常勤歯科医師数	へき地医療現況調査	H28	0.0	0.0					人 (人口10万対)	○県内に、該当歯科医師なし。
		非常勤歯科医師数			0.0	0.0					人 (人口10万対)	○県内に、該当歯科医師なし。
		常勤看護師数			1.4	1.1					人 (人口10万対)	○全国を下回っている。
		非常勤看護師			0.8	0.5					人 (人口10万対)	○全国を下回っている。
		常勤薬剤師数			0.7	0.0					人 (人口10万対)	○県内に、該当薬剤師なし。
		非常勤薬剤師数			0.3	0.1					人 (人口10万対)	○全国を下回っている。
6	へき地医療拠点病院数	へき地医療現況調査	H28	0.2	0.5					施設 (人口10万対)	○全国を上回っている。	
7	へき地医療に関して一定の実績を有するものとして認定を受けた社会医療法人数	へき地医療現況調査	H28	0.1	0.0					法人 (人口10万対)	○県内に、該当法人なし。	
8	へき地医療支援機構の数	へき地医療現況調査	H28	40	0					施設 (人口10万対)	○実数のため、単純比較不可。	
9	へき地医療支援機構の専任・併任担当官数	へき地医療現況調査	H28	0.0	0.0					人 (人口10万対)	○県内に、該当担当官なし。	
10	へき地医療に従事する地域枠医師数	へき地医療現況調査	H28	0.4	0.0					人 (人口10万対)	○県内に、該当医師なし。	
11	へき地における診療・巡回診療の実施日数	へき地医療現況調査	H28	1.8	0.0					日 (人口10万対)	○県内に、実績なし。	
12	へき地における訪問診療(歯科を含む) ・訪問看護の実施日数	訪問診療(歯科を含む)	へき地医療現況調査	H28	37.7	7.1					日 (人口10万対)	○全国を下回っている。
		訪問看護			29.5	0.0					日 (人口10万対)	○県内に、実績なし。
13	へき地保健指導所の保健活動日数 及び対象者数	保健活動日数	へき地医療現況調査	H28	4.6	0.0					日 (人口10万対)	○県内に、実績なし。
		対象者数			19.1	0.0					人 (人口10万対)	○県内に、該当者なし。

<巻末データ> 現状の把握【へき地医療】

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
14	へき地医療拠点病院からへき地への 巡回診療実施回数・日数・延べ受診患者数	へき地医療現況調査	H28	4.1	37.9					回 (人口10万対)	○いずれも全国を上回っている。
				3.1	19.7					日 (人口10万対)	
				20.4	124.7					人 (人口10万対)	
15	へき地医療拠点病院からへき地への 医師派遣実施回数・延べ派遣日数	へき地医療現況調査	H28	12.2	51.3					回 (人口10万対)	○いずれも全国を上回っている。
				10.4	25.7					日 (人口10万対)	
16	へき地医療拠点病院からへき地への 代診医師派遣実施回数・延べ派遣日数	へき地医療現況調査	H28	3.3	0.0					回 (人口10万対)	○いずれも県内に、該当なし。
				3.2	0.0					日 (人口10万対)	
17	遠隔医療等ICTを活用した診療支援の実施状況	へき地医療現況調査	H28	0.1	0.0					件 (人口10万対)	○県内に、実績なし。
18	協議会の開催回数	へき地医療現況調査	H28	0.1	—					回 (人口10万対)	○国の提供データ不足のため現状把握不能。
19	協議会等におけるへき地の医療従事者(医師、歯科医師、看護師、薬剤師等) 確保の検討回数	へき地医療現況調査	H28	0.0	—					回 (人口10万対)	○国の提供データ不足のため現状把握不能。